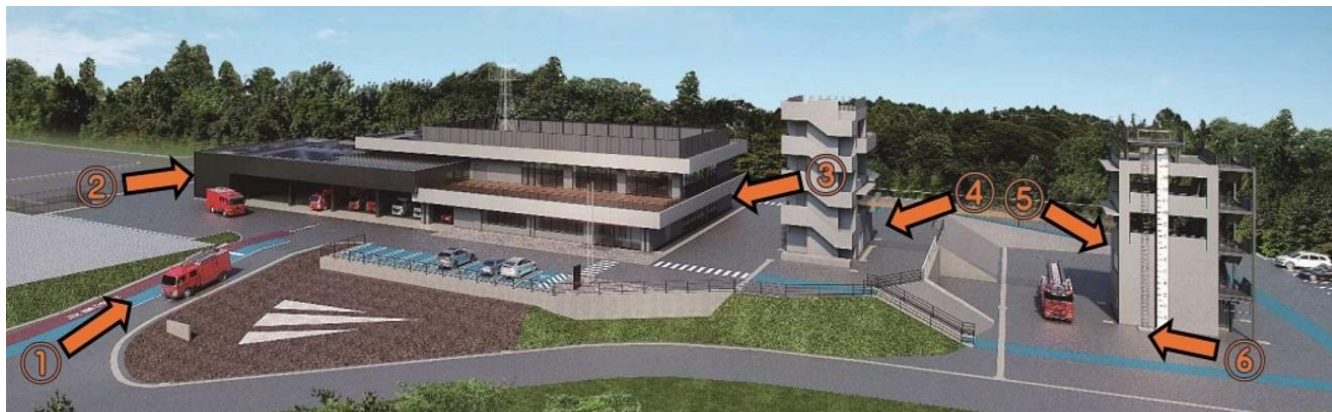


款	項	目						
2	1	4	担当部局・課名	危機管理監・危機管理課				
事業名			防災・行政情報伝達システム整備事業					
事業区分			継続事業（拡充） 政策 2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		12①業務委託料（物件費）	23,430	23,430	0	0	100.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		23,430	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁 96		
	臨時会 補正		⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 →		23,430	該当／頁 97		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和6年度	23,430				17,500		5,930	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			導入後10年が経過した音声告知放送システムのサーバー等の設備機器類を更新し、災害時の市民への継続的な情報発信ツールを確保する。					
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	令和6年度は、ピオネットに設置しているシステムの本体サー バーを更新し、災害時の市民への情報発信ツールを維持した。							
	単位：千円							
	対象設備		主な内容				決算額	
	制御用コンピュータ		サーバ機器本体，FM音声告知システムソフトウェア更新等				8,250	
	履歴用コンピュータ		サーバ機器本体，FM音声告知システムソフトウェア更新等				3,850	
	音声マトリックススイッチャー		機器本体更新，機器設定等				4,400	
	DTMF発生器		機器本体更新，機器設定等				1,650	
	システム設計等		システム設計，据付調整作業等				5,280	
	合計						23,430	
	別添資料等		無					
（事業一覧等）								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより，どのよ うな成果や効果をも たらしたのか			本市では，音声告知放送，防災メール，Yahoo防災，三次市公式SNSを活用し，緊急時情報発信手段の多重 化・多様化に取り組んでいる。本事業では，計画的に設備機器の更新を行い，音声による有効な情報発信ツールである 音声告知放送の継続的な発信機能を確保した。					

款	項	目	担当部局・課名																									
9	1	1	危機管理監・危機管理課																									
事業名			消防署車両整備事業																									
事業区分			継続事業																									
			政策 2 安全で快適な生活環境																									
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%																				
	① 負担金, 補助及び交付金		18③負担金 (一部事務組合)	33,387	33,387	0	0	100.0%																				
	②																											
	③																											
	④																											
	⑤																											
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		33,387	決算に関する説明書																						
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁 250																						
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		33,387	該当/頁 251																						
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)																												
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源																					
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																						
令和6年度	33,387				31,600		1,787																					
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称																									
	国庫支出金																											
	県支出金																											
	負担金等その他																											
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			救急活動の更なる充実強化と災害対応への効率化を図るため、備北地区消防組合の車両更新を実施する。																									
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	備北地区消防組合が保有する次の車両について、計画的な更新を実施するため、負担金を支出した。																											
	<table border="1"><thead><tr><th>購入備品名称</th><th>購入数</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>三次市</th><th>庄原市</th></tr></thead><tbody><tr><td>高規格救急自動車 (三次消防署)</td><td>1台</td><td>33,451</td><td rowspan="2">60,456</td><td rowspan="2">33,387</td><td rowspan="2">27,069</td></tr><tr><td>高規格救急自動車 (吉舎出張所)</td><td>1台</td><td>33,451</td></tr><tr><td>計</td><td>2台</td><td>66,902</td><td>60,456</td><td>33,387</td><td>27,069</td></tr></tbody></table>								購入備品名称	購入数	予算額	決算額	三次市	庄原市	高規格救急自動車 (三次消防署)	1台	33,451	60,456	33,387	27,069	高規格救急自動車 (吉舎出張所)	1台	33,451	計	2台	66,902	60,456	33,387
購入備品名称	購入数	予算額	決算額	三次市	庄原市																							
高規格救急自動車 (三次消防署)	1台	33,451	60,456	33,387	27,069																							
高規格救急自動車 (吉舎出張所)	1台	33,451																										
計	2台	66,902	60,456	33,387	27,069																							
別添資料等	無																											
(事業一覧等)																												
			更新した高規格救急自動車 (吉舎出張所)																									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			車両の不具合等により消防・救急活動等に支障が生じないよう、計画的に車両更新を行い、市民の安全・安心を確保した。																									

款	項	目	担当部局・課名		危機管理監・危機管理課				
9	1	1	事業名 備北地区消防組合消防本部・三次消防署 消防新庁舎建設事業（備北地区消防組合負担金）						
事業区分		継続事業		政策 2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		18③負担金（一部事務組合）		512,472	479,121	0	33,351	93.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥（①～⑤の計） →		479,121	決算に関する説明書		
	9月補正	○	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁	250	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		479,121	該当／頁	251		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			備北地区消防組合が執行する機械設備工事，電気設備工事の入札残等事業費の減による負担金の減のため						
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度	479,121				168,900		310,221		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			備北地区消防組合が令和5年3月に策定した「備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎整備基本計画」に基づき，平常時及び大規模災害発生時における消防機能（消防力発揮）の継続性の確保及び充実強化を図るため，備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎整備に取り組む。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	■ 新庁舎建設工事基本・実施設計業務(R5→R6繰越明許費) ※ 按分額は令和5年度分担金割合による。(55.379%)								
	施設区分		面積割合	備北地区消防組合			三次市		
				契約額	起債借入額	構成市負担額	按分額	組合起債借入	負担額
	全 体			129,800	59,900	69,900	112,807	55,001	57,806
	消防本部		29.34%	38,084	10,980	27,104	21,091	6,081	15,010
	三次消防署		70.66%	91,716	48,920	42,796	91,716	48,920	42,796
	■ 令和6年度発注工事等 建設中の消防庁舎（上）と訓練塔（下）								
	事業内容		契約額	消防本部	三次消防署				
				29.34%	70.66%				
	① 建築主体工事		1,256,200	369,293	886,907				
② 機械設備工事		247,500	72,617	174,884					
③ 電気設備工事		385,000	112,959	272,041					
④ 工事監理費（委託料）		44,000	12,910	31,090					
計		1,932,700	567,778	1,364,922					
別添資料等 有 （事業一覧等）	区分	事業費	消防組合	三次市	庄原市				
	全体	1,932,700	688,889	1,077,536	166,275				
	R6決算額	755,480	269,400	421,315	64,765				
	R7予算額	1,177,220	419,489	656,221	101,510				
※令和6年度の分担金割合は，55.226%									
成果/評価 * 事業を執行したことにより，どのような成果や効果をもたらしたのか			消防新庁舎を浸水想定区域外に整備することにより，平常時及び大規模災害発生時の消防機能の継続性の確保と充実強化を図る。						

備北地区消防組合消防本部・三次消防署 消防新庁舎建設事業 現在の進捗状況



① 正面入口



② 消防本部・三次消防署 庁舎部分



③ 消防本部・三次消防署 庁舎部分



④ 主訓練塔



⑤ 副訓練塔



⑥ 副訓練塔

款	項	目						
9	1	2	担当部局・課名	危機管理監・危機管理課				
事業名			消防団員報酬処遇改善					
事業区分			継続事業					
			政策 2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		1③非常勤職員報酬	48,786	47,738	0	1,048	98.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤)の計 →		47,738	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁 250		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		47,738	該当／頁 251		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			消防団員数が定員 (基本団員: 1,250人, 機能別団員: 170人) に達していないため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和6年度	47,738						47,738	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			従来の消火活動のほか, 近年の頻発する大雨に伴う水防活動, 更に行方不明者の捜索など消防団活動が多様化する中, 消防団を中核とした地域防災力の更なる充実強化と, 継続した消防団員の確保を図るため, 消防団員の処遇改善を行う。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状 況写真／図面等	■ 職務手当 47,737,661円							
	階級		従前の 手当額	現行の 手当額	団員数 (R7.3.1時点)			
	団長		100,000	100,000	1			 令和7年消防出初式
	副団長		86,000	86,000	2			
	方面隊長 (副団長階級)		72,000	72,000	8			
	分団長		39,000	50,500	49			
	副分団長		29,000	45,500	78			
	部長		22,000	37,000	116			
	班長		19,000	廃止	—			
	団員		16,000	36,500	951			
機能別消防団員		8,000	8,000	144				
合計					1,349			
(参考)出動手当 22,264,000円								 令和6年夏季訓練
区分		支給単位	従前の 手当額	現行の 手当額				
災害に係る出動手当		2時間以内	2,600	2,000				
・火災, 水防, 地震等		2時間超	2,600	4,000				
(警戒を含む)		4時間以内						
・人名救助, 捜索等		4時間超	5,200	8,000				
上記以外に係る出動手当		1回	2,600	2,600				
別添資料等								
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよう な成果や効果をも たらしたのか	消防団員の処遇改善を行うことにより, 退団に歯止めをかけ, 新入団員の入団促進を図った。 地域の担い手の減少等に伴い, 消防団に求められる役割も多様化する中, 消防団活動を持続可能なものとし, 地域 防災力の充実強化を図るには, 今後も継続的に消防団員を確保していく必要がある。 職務手当の改善により退団者の抑止に一定の効果は出ているが, 引き続き自分たちの地域は自ら守るという意義と地域の 仲間づくりということを広報し, 団員確保に努める。							

款	項	目						
9	1	3	担当部局・課名	危機管理監・危機管理課				
事業名			備北地区消防組合消防本部・三次消防署 消防新庁舎用地整備事業					
事業区分			継続事業					
			政策 2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		12①業務委託料 (物件費)	2,200	2,200	0	0	100.0%
	② 工事請負費		14①工事請負費	105,660	99,628	5,000	1,032	94.0%
	③ 公有財産購入費		16②土地購入費	18,972	9,791	0	9,181	52.0%
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		111,619	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	254	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		111,619	該当/頁	255	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			県立総合技術研究所林業技術センター解体撤去工事の入札残及び土地売買代金の減免により土地購入費が抑えられたため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和6年度	111,619				41,000		70,619	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			備北地区消防組合が令和5年3月に策定した「備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎整備基本計画」に基づき、平常時及び大規模災害発生時における消防機能（消防力発揮）の継続性の確保及び充実強化を図るため、備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎整備事業に伴う用地取得を行う。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	■ 委託料 【内容】県立総合技術研究所林業技術センター解体撤去工事に伴う地下水モニタリング調査業務 【請負業者】一般財産法人広島県環境保健協会 【契約金額】2,200,000円							
	■ 工事請負費 【内容】県立総合技術研究所林業技術センター三次高平施設水道施設新設工事 【請負業者】有限会社谷中設備工業 【契約金額】21,898,800円							
	単位: 千円							
	予算区分		業務委託料 (物件費)		工事請負費 (水道施設新設工事)			
			計	R5→R6 繰越	計	R6		
	消防施設経費		2,200	2,200	21,899	21,899		
	■ 工事請負費 【内容】県立総合技術研究所林業技術センター解体撤去工事 【請負業者】土井建材有限公司 【契約金額】80,048,100円							
	■ 公有財産購入費 【内容】101,786.09㎡(うち消防事業用地12,674.14㎡)を取得 【契約金額】17,550,000円							
	単位: 千円							
	予算区分		工事請負費 (解体工事)		土地購入費			
		計	R5→R6 繰越	R6	計	R5→R6 繰越		
別添資料等	土地取得特別会計		2,319	1,228	1,091	7,759	7,759	
無	消防施設経費		77,729	31,459	46,270	9,791	9,791	
(事業一覧等)	全体		80,048	32,687	47,361	17,550	17,550	
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			消防庁舎を浸水想定区域から移転し、新たに整備することにより、平常時及び大規模災害発生時の消防機能の継続性の確保と充実強化を図る。					

款	項	目						
9	1	3	担当部局・課名	危機管理監・危機管理課				
事業名			広域避難場所整備調査研究業務					
事業区分			新規事業					
			政策 2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		12①業務委託料(物件費)	3,000	2,978	0	22	99.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →			2,978	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	252
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →			2,978	該当/頁	253
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和6年度	2,978		0	0	0	0	2,978	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			三次市ハザードマップにおいて浸水想定区域となっている市街地に居住する住民が、自家用車等で安心して避難できる広域避難場所を整備するため、どのような整備ができるのか等具体的な方向性を検討するための調査研究を行った。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			■ 事業実績 ・委託料(12①業務委託料(物件費)) 【内容】林業技術センター跡地広域避難場所等整備計画作成業務 【契約期間】令和6年10月18日~令和7年3月21日 【委託業者】復建調査設計株式会社 【契約金額】2,977,700円  					
別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			林業技術センターの跡地等における市民の安全・安心に資する用地の活用についての調査を行い、広域避難場所の整備や平時の利活用に関する整備計画などを作成した。					

款	項	目						
9	1	3	担当部局・課名	危機管理監・危機管理課				
事業名			消防格納庫整備事業					
事業区分		継続事業（拡充）		政策 2 安全で快適な生活環境				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		12④調査測量設計監理等委託料	1,038	1,038	0	0	100.0%
	② 委託料		12⑤その他委託料	182	176	0	6	97.0%
	③ 工事請負費		14①工事請負費（施設整備工事）	12,778	12,778	0	0	100.0%
	④ 公有財産購入費		16②土地購入費	4,914	4,914	0	0	100.0%
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		18,906	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁 252		
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		18,906	該当／頁 255		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度	18,906			18,900		6		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）		地域の消防力の強化を図るため、消防団格納庫整備工事を行う。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	建築から相当年数が経過した、三次市消防団三次方面隊酒河分団1部2部共同使用の消防格納庫及び3部消防格納庫を統合し、新たな格納庫を整備しました。							
	単位：円							
	内訳		事業費					
	委託料							
	土地鑑定業務		176,000					
	境界復元測量業務		271,700					
	実施設計業務		766,700					
	工事請負費							
	格納庫整備工事		12,777,600					
	公有財産購入費							
格納庫整備用地購入費		4,914,000						
合計		18,906,000						
別添資料等 無 （事業一覧等）	格納庫	約34㎡ ガレージ（小型動力ポンプ付積載車 軽2台）						
	詰所	約23㎡ 14畳						
	その他設備	トイレ、ホース乾燥柱						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	消防格納庫の統合整備により、各種災害に対応するための人員及び資機材が集結し、初動から最大限の消防力を発揮することが可能となった。							

款	項	目						
9	1	3	担当部局・課名	危機管理監・危機管理課				
事業名			耐震性防火水槽整備事業					
事業区分			新規事業					
			政策 2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		12④調査測量設計監理等委託料	2,952	2,952	0	0	100.0%
	② 工事請負費		14①工事請負費(施設整備工事)	22,126	18,438	0	3,688	83.0%
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →			21,390	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	252
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →			21,390	該当/頁	255
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)			入札残による。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和6年度	21,390		9,219		12,100		71	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金		消防防災施設整備費補助金					
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			震災時においても消防力が発揮されるよう、消防水利の充実強化を図ることを目的に耐震性防火水槽整備工事を行う。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	■ 十日市町(三次高平施設内) 備北地区消防組合が新庁舎を建設する敷地内であり、高台に立地する特徴から消火栓設置が難しいことから、近隣住家を含めた水利として耐震性防火水槽60㎡を1基新設							
	■ 廻神町(辻塚) 当該地域に消防水利がないことから耐震性防火水槽40㎡を1基新設							
別添資料等	単位: 円							
	内訳 事業費							
無 (事業一覧等)	委託料							
	測量設計業務 2,951,300							
	工事請負費							
	十日市町(三次高平施設内/60㎡) 10,450,000 廻神町(辻塚/40㎡) 7,988,200 合計 21,389,500							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			耐震性防火水槽の整備により、当該地域における消防水利の充実強化が図られ、震災時においても消防力が発揮できるようになった。					



施工状況



完了検査

款	項	目																		
9	1	5	担当部局・課名	危機管理監・危機管理課																
事業名			避難行動要支援者支援事業																	
事業区分		継続事業	政策 2 安全で快適な生活環境																	
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%												
	① 需用費		10①消耗品費	30	10	0	20	33.0%												
	② 需用費		10④印刷製本費	28	26	0	2	93.0%												
	③ 役務費		11①通信運搬費	113	113	0	0	100.0%												
	④ 使用料及び賃借料		13⑥事務機器等借上料	1,489	1,489	0	0	100.0%												
	⑤																			
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤)の計 →		1,638	決算に関する説明書														
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	256													
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		1,638	該当/頁	257													
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)																				
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源														
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他															
令和6年度	1,638	0	0	0	0	1,638														
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																		
	国庫支出金																			
	県支出金																			
	負担金等その他																			
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		要支援者の避難の実行性を高め、共助による避難支援等の意識向上と定着を図ることを目的に、避難行動要支援者システムによる名簿情報の管理、更新及び作成、作成した名簿情報をもとにした個別避難計画の作成を行う。																		
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		■ 事業実績 ・使用料及び賃借料(⑥事務機器等借上料) 避難行動要支援者システムリース料 124,080円/月×12ヶ月=1,488,960円 ほか ■ これまでの取組状況 ・令和3年4月 三次市避難行動要支援者名簿に関する条例施行 ・令和3年12月～ システム導入(名簿作成作業開始) ・令和4年3月～ 避難支援等関係者への名簿情報の提供を開始 ・毎年度5月・11月 避難行動要支援者へ最新の名簿情報を提供 ・毎年度9月・年3月 新規対象者へ名簿掲載に係る意向確認通知発送 ・令和6年11月 連絡調整会議の開催 個別避難計画作成に係る優先順位の決定 ・随時 自主防災組織・民生委員等への制度説明 <table><tr><td>区分</td><td>R4年度末</td><td>R5年度末</td><td>R6年度末</td></tr><tr><td>対象者</td><td>2,486人</td><td>2,470人</td><td>2,400人</td></tr><tr><td>名簿掲載者</td><td>2,265人</td><td>2,188人</td><td>2,159人</td></tr></table>							区分	R4年度末	R5年度末	R6年度末	対象者	2,486人	2,470人	2,400人	名簿掲載者	2,265人	2,188人	2,159人
区分	R4年度末	R5年度末	R6年度末																	
対象者	2,486人	2,470人	2,400人																	
名簿掲載者	2,265人	2,188人	2,159人																	
別添資料等 無 (事業一覧等)																				
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか		個別避難計画作成の基本となる情報等をとりまとめた避難行動要支援者名簿の更新を定期的に行い、避難支援等関係者(自主防災組織・民生委員・福祉事業所など)への提供を行った。名簿情報をもとに、避難支援の対象となる要支援者の個別避難計画作成の取組を進める地域が徐々に拡大している。 関係機関と連携・協力し、今後も丁寧に取組を進めることで、自助・共助の強化を図る。																		

款	項	目	担当部局・課名					
9	1	5	危機管理監・危機管理課					
事業名			自主防災組織活動支援事業 ほか					
事業区分			継続事業 政策 2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		18⑤補助金 (補助費)	5,920	4,895	0	1,025	83.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤) の計 →		4,895	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	256	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		4,895	該当/頁	257	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			自主防災組織活動補助金の申請が当初見込を下回った (見込: 19組織→実績: 17組織) こと等による。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑨)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和6年度	4,895					2,410	2,485	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他		市町村振興協会助成金 (安全・安心まちづくり事業助成金)					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			地域防災力の向上を図るため, 自主防災組織の支援, 地域避難場所等の運営補助及び防災士の資格取得支援に取り組む。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	① 自主防災組織活動補助金 @280千円×17組織=4,760千円 【補助対象経費】 ・防災・減災に係る啓発や防災訓練等の実施に係る経費 ・災害備蓄品の整備に係る経費 ・避難行動要支援者の支援の取組に係る経費							
	② 地域避難場所等運営補助金 @5千円×3ヶ所=15千円 【補助対象経費】 ・地域避難場所等の開設・運営に要する経費 (1日あたり5,000円上限)							
別添資料等 有 (事業一覧等)	③ 防災士育成事業補助金 120千円(6人分) 【補助対象経費】 ・防災士の資格取得に要した経費の2分の1を補助(30,000円上限) <三次市防災士ネットワーク加入状況> 122人(R7.3.1現在)							
	成果/評価 * 事業を執行了ことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか 防災訓練や各種研修の実施, 避難所の資機材・備蓄品の整備等を通じて, 防災意識の向上に取り組んでおり, 令和6年度訓練参加者数 (自主防災組織主催のみ) は4,348人に上る。また, 三次市防災ネットワークへの加入防災士は, 122人となった。各種事業を通じて, 自主防災組織と防災士, 消防団など, 地域の関係機関の連携・協力体制づくりが進んでおり, 共助の取組が定着しつつある。 地域の防災力向上を図るためには, 継続した支援が必要であることから, 各要綱において事業期間 (～令和10年3月31日まで) を定めている。							

令和6年度自主防災組織活動補助金の活用状況

番号	地区名	交付確定額	事業内容
1	河内自主防災会	280,000	広島市豪雨災害伝承館研修費, 備蓄品購入費（保存食・保存水）, 防災訓練チラシ代
2	三次地区自主防災会	280,000	避難所訓練, 消耗品費, 避難所備品費
3	十日市自主防災連合会	活用実績なし	
4	粟屋町自主防災会	280,000	防災資機材保管庫, チェンソー, ガスコンロ, 調理台
5	川地自主防災連合会	280,000	地域避難場所用備品費の購入 （保存食・保存水, 救急セット, 椅子, 机）
6	青河自主防災会	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
7	酒屋地区自主防災会	280,000	保存食, 水, 簡易トイレ, 段ボールトイレ, カセットコンロ,
8	八次地区自主防災会	活用実績なし	
9	和田安全ネットワーク	280,000	備蓄倉庫購入
10	神杉自主防災会	280,000	防災訓練経費, 消耗品費, 防災バッグ, テント
11	田幸地区自主防災会	280,000	避難所備品費（ストーブ, 段ボールベッド, 電池）, 収納庫代
12	川西自主防災会	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
13	君田町自主防災連合会	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
14	布野町自主防災会	280,000	避難所備品費（カセットコンロ, 扇風機, 照明, 食料） 炊出し代
15	作木町自主防災会	280,000	避難所備品費, 講師代, 印刷代, 食糧費, 切手代
16	吉舎町自主防災組織連合会	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
17	三良坂町自主防災連合会	280,000	避難所備品費（ベッド, 間仕切りテント, 食料・水） 講師代
18	三和町自主防災連合会	280,000	防災訓練（防災キャンプ）消耗品費, 避難所備品費（ソーパネル, ポータブル電源等）
19	甲奴町振興協議会連合会	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
計		4,760,000	

款	項	目	担当部局・課名					
9	1	5	危機管理監・危機管理課					
事業名			広島県総合行政通信網（衛星系）整備事業負担金					
事業区分			継続事業（拡充） 政策 2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		18①負担金（補助費）	14,665	14,585	0	80	99.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		14,585	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁 256		
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		14,585	該当／頁 257		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和6年度	14,585				7,200	7,292	93	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他		市町村振興協会助成金（広島県総合行政通信網再編整備事業費市町負担金助成金）					
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			平成18～19年度に整備された、県内市町及び消防本部を結ぶ衛星通信網について、再編整備（新たな衛星通信網の整備）を行い非常時の通信手段の維持を図るため、広島県総合行政通信網（衛星系）整備事業を行った。					
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	・広島県が一括して工事（発注を含む）を行い、全体事業費の1/2を県、残りの1/2を市が負担（市負担の1/2には市町村振興協会助成金を充当）。 ・消防本部分は市町村振興協会助成金を充当するため、負担金分担割合により両市が支出（算出額はR5年度負担率（55.379％）による）。							
	単位：円							
	区分	全体事業費	負担額	市 実質負担額	市町村振興協会 助成金			
	三次市	19,135,600	9,515,846	4,757,846	4,758,000			
	備北地区消防組合消防本部	18,405,200	5,068,635	2,534,635	2,534,000			
	合計	37,540,800	14,584,481	7,292,481	7,292,000			
別添資料等	無							
（事業一覧等）								
			庁舎屋上アンテナ			危機管理課内端末		
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			平成18～19年度に整備された設備機器等を更新し、災害時の情報伝達を確実・円滑に行うための通信手段が確保された。					